

事前評価日 平成28年5月23日

No. 6031 01

基 本 事 項	事務事業名	水道計理事業			所管部署名	水道課 庶務係			
	事業期間	昭和32年度 ~ 未設定	事業年齢	59歳	事前評価責任者	増田 典道	連絡先	048 - 982 - 7711	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		根拠法令等	地方公営企業法、吉川市水道事業会計規程			
	事務事業の性質	毎年繰り返し			執行方法	直営			
	関連付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無		
	基 本 計 画 係	開連付け				歳 出 予 算 科 目	事業名	原水及び浄水費	
		まちづくり目標					会計区分	水道企業会計	
		施策					款 項	水道事業費用	営業費用
	第3期実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		目	原水及び浄水費			
	個別計画の位置付け	計画名	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		前年度の事務事業有無・事務事業番号	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	603101
目 的	対象(誰を、何を)	水道事業の会計全般			手 段 (どのような事業を行うのか)	①収入伝票、支払伝票、振替伝票を処理し、総勘定元帳を作成 ②予算原案の作成及び決算を調製し、市長に提出 ③効果的な財政運営を推進する。			
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	最小の経費で最大の効果が得られる財政運営を目指す。				事務事業を取巻く環境の変化・実施上の課題	・水需要の伸び悩みに加えて、老朽化した施設の更新などの対応が求められているなか、より計画的で中・長期的な視点に立った財政運営を推進していく必要がある。 ・平成26年度予算から新会計制度が導入された。		
類似事業	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無							
業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	60310101	会計処理					

区分	区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
投 入 コ ス ト	① 直接事業費	906,278	916,097	923,265	950,025	33,928	966,470	930,159
	② 人件費	14,864	19,084	18,932	17,329	-1,755	17,329	17,329
	正職員直接投入人員	1.65人	1.96人	1.96人	1.75人	-0.21人	1.75人	1.75人
	正職員間接投入人員	0.15人	0.39人	0.39人	0.35人	-0.04人	0.35人	0.35人
	③ 間接経費(加算)							
④ コスト対象外(除外)								
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	921,143	935,181	942,197	967,354	32,173	983,799	947,488	
資 源	⑥ 国庫支出金							
	国補助率							
	⑦ 県支出金							
	県補助率							
	⑧ 市債							
⑨ その他								
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)								
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C 吉川市年間負担経費(A-B)	921,143	935,181	942,197	967,354	32,173	983,799	947,488	
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助		<input type="checkbox"/> 一部補助		<input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独	

目 標 設 定 実 績	区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	①	会計伝票処理件数	件	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		収入伝票+支払伝票+振替伝票		2,449	2,360	2,887		
活 動 指 標	①	純利益	千円	122,467	54,952	56,233	56,233	56,233
		経常利益-(特別損失-特別利益)		118,060	142,217	120,446		
成 果 指 標	①	総収支比率	%	101.00	104.00	104.00	104.00	104.00
		総収益÷総費用×100		108.80	111.02	109.21		
	②							

業	区分	評価指標名(上段) / 指標の性質(下段)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果・効率性向上度のポジション										
		目標達成度	① 純利益	増加することが良いとされる指標	96.40%	258.80%	214.19%		成果の維持と効率性の改善が必要									
績	成果	① 総収支比率	増加することが良いとされる指標	107.72%	106.75%	105.01%												
	効率性	単位当たりコスト	① 純利益	単位 円/千円	平成27年度 6,576	平成28年度 8,031		コストが増加している										
評	主	<p>・本年度は前年度に比して、給水戸数、給水人口ともに増えたことで年間総配水量は増加したが、経営の基盤となる水道事業収益は減収となった。</p> <p>・収益的収支において、総収益は1,477,474千円で、前年度に比べ14,895千円の減、総費用は1,357,028千円で、前年度に比べ7,860千円の増となり総収支比率は109.21%となり、約120,446千円の純利益を出すことができた。(すべて税抜額)また、給水戸数29,037戸で1.95%増、給水人口で0.85%増、一人一日当たり平均給水量271ℓと前年度より1リットル減、有収率が91.81%で前年度より1.74ポイント低下したことから、さらなる経営努力が望まれるものとなった。</p>																
		取	<p>○決算概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>水道事業収益</th> <th>水道事業費用</th> <th>純利益</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>1,477,474</td> <td>1,359,028</td> <td>120,446</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>1,492,369</td> <td>1,349,152</td> <td>143,217</td> </tr> </tbody> </table>			年度/項目	水道事業収益	水道事業費用	純利益	平成28年度	1,477,474	1,359,028	120,446	平成27年度	1,492,369	1,349,152	143,217	<p>税抜(単位:千円)</p>
年度/項目	水道事業収益	水道事業費用	純利益															
平成28年度	1,477,474	1,359,028	120,446															
平成27年度	1,492,369	1,349,152	143,217															

官	公共性		実施主体の妥当性		行政関与の妥当性	受益者負担の妥当性
	民	より多くの市民に提供され、しかも日常生活に必要不可欠なサービス	政策的意決定を必要とし、かつ行政上の専門知識を必要とするサービス	高		
役						
割						
分						
担						
評						
価						

事	区分	評価		評価判断理由(特記事項)
		業	役割分担	
性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討		
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討		
評	有効性	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<p>・効率的な企業経営を行うため、収支比率の向上を図り総費用の平準化や経営の効率化により成果向上の余地がある。</p> <p>・総合振興計画の大柱「暮らしを支える上水道の充実」の根幹である水道事業の安定経営に寄与している。</p>
	価	効率性	上位施策への貢献度	
コスト改善の余地			<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<p>・コスト改善として、委託業務内容のさらなる精査や、施設等の維持更新を計画的に進めることで、必要最小限に努める。</p>
		受益者負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	

改	これまでの改善(検討)状況とその内容	<input type="checkbox"/> 改善実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 改善未実施
	課題と今後の改善策	<p>・節水型機器の普及などによる水需要の伸び悩みによる水道事業の財政状況の改善を図るため、平成19年度に水道事業経営健全化計画を策定した。また、来年度より経営戦略の策定に取り組む予定である。</p> <p>・水道ビジョン及び水道事業経営健全化計画等は、策定後相当の期間が経過している状況である。今後、これらの計画を検証及び見直し計画的に事業の実施を図る。</p>

事	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化
「今後の方針」の説明(計画内容等)	<p>・中長期の経営状況を計画化する「経営戦略」を平成31年度をめどに策定していく。</p>	

一次評価日	平成29年5月19日	一次評価責任者	山口 剛介
-------	------------	---------	-------

二	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化
説明	<p>(一次評価者と二次評価者が同一のため、評価は同じになります。)</p>	

二次評価日	平成29年5月19日
-------	------------